

NJ素流協 News

令和7年5月10日

第244号

令和7年5月10日発行・発行所 ノースジャパン素材流通協同組合 〒020-0024 盛岡市菜園1丁目3-6（農林会館5階）
TEL 019(652)7227 / FAX 019(654)8533 / <https://www.soryukyo.or.jp>

ノースジャパン素流協 令和6年度第2回林業講演会 「本当は気づかう必要のある林業アイテムはこれだ!!」後編 意見交換の部

NJ素流協は3月25日（火）、令和6年度第2回林業講演会「本当は気づかう必要のある林業アイテムはこれだ!!」を盛岡市で開催しました。先月号に引き続き、後編意見交換の内容をお伝えします。

【司会】

NJ素流協 理事長

鈴木 信哉

【パネリスト】

静岡県林業研究グループ連絡協議

会 会長

片平 有信氏

有限会社丸大県北農林 代表取締役

役

大粒来 仁孝氏

株式会社アクティオ 林業仙台セ

ンター

石川 凌平氏

NJ素流協 鈴木理事長（以下鈴木）
まず、片平さんにお伺いし

ます。他の林業関係者は、今回の車の収納のような工夫はしているのでしょうか。



NJ素流協 鈴木信哉理事長

静岡県林業研究グループ連絡協議会 片平有信氏（以下 片平）
仲間の中では、軽バンやハイエース等に乗っている人が多いです。やはり、チェーンソーをそのまま置いていたり、棚があってもむき出しの状態で、オイルまみれになっていたり、清潔感・匂いの問題がありました。それを見て自分は、

見た目をきれいに、かつ匂い問題防止のためチェーンソーオイルが垂れないように区画する方法をとりました。

鈴木 彼の会社の人も真似していますか？

片平 そうですね。皆、「いいね。これ!」と引き出しシステムに移行して、ホームセンターで売られているプラスチックエクター等に引き出しをつけたりと皆、色々アイデアを出して作っていました。大工さんに作ってもらった人もいます。

鈴木 ありがとうございます。次は、大粒来さんに伺います。現場まで皆で一緒に行くということでしたが、私が国有林で働いていた時代は、運転士さんはローテーション制でしたが、運転を担当する人は同じ人ですか？ローテーションですか？

有限会社丸大県北農林 大粒来 仁孝氏（以下 大粒来） 現場への通勤車は若くて運転が安心して出来る人が担当します。その判断

をする人は、各班の班長です。「この人なら大丈夫かな」という人になります。

鈴木 分かりました。それから、車両の中でお昼ごはんを食べるという話でしたが、こんな品物があつたらもつといいのにとこのような要望はありますか？

大粒来 今のところはそういった要望はありませんが、夏場はエアコンがきちんとついていますし、冬場は暖房をかけ、昼食を食べた後にちよつと昼寝して、午後の仕事に入るのが通常の流れになります。

鈴木 雨が降ったり、今の時期は雪どけがあつてドロドロになった時に車が汚れないですか？

大粒来 間違いなく汚れます。ただ、一か月に一回、清掃の日を設けているので、ある程度のきれいさは維持できています。最終土曜日が点検整備の日になっているので、その日に集中的に清掃します。

鈴木 はい、分かりました。それでは次に、アクティオの石川さん

に伺います。講演でお話があつた車（オフグリッドレストカー）は、元々何の目的で作つたものなのですか？もう一つは、通信支援について、山の中は電波が通じないところがいっぱいあります。確率といえますか、通信が不安定なところでのくらい大丈夫になるのでしょうか？

株式会社アクティオ 石川凌平氏

（以下 石川） オフグリッドレストカーの開発経緯としては、まず女性作業員さんのために作つたことが一つの大きな目的でした。建築、土木、高速道路の現場といつ

たところで、女性従業員のの方の、移動しながらのトイレ問題をいかに改善するかという開発経緯がありました。通信に関しては、スターリンクで電波を拾える条件があります。その条件として、空が開けている場所が大前提となります。ですので、皆伐地や土場のようなところでは問題なく電波を拾えると思うのですが、間伐の現場といった木が生い茂つた山の中では、現

状、拾えない可能性の方が高いです。ですが、実際にスターリンクを導入する前に、この場所でスターリンクが使えるのかどうか診断できるアプリを無料でダウンロードしてお使いいただけます。非常に操作が簡単です。スマホでアプリを入れ、スターリンクを使うところにいき、スマホを空にかざして指示に従いながらぐるぐる回つていただくと、衛星から電波が拾えるかどうか一目で分かります。ですので、まずは現場でそのアプリを使って診断していただくのが一番かなと思います。

鈴木 かつて、山の中で使えるようにと衛星電話をやつてみたのですが、やはり繋がらない場所が多かつたです。それはやはり、拾える場所まで行つて使うしかないということですかね？

石川 そうですね。やり方はいくつかあるのですが、まず拾えるところにスターリンクのアンテナを設置していただいて、通信環境が整つているところ（アンテナ）の

近くまで行つて使つていただくか、あとはアクセスポイントをつなげることでWi-Fiエリアを広げることが可能です。アクセスポイントについては、空が開けているといった状況の条件は特にありませんので、そういったものでエリア拡大していただく形になると思います。

鈴木 はい、分かりました。再び戻つて片平さんに伺います。色々なイベントがあると思いますが、こうした収納を工夫している車を集めて、グッドアイディア賞のようなコンテストみたいな機会はあるのですか？

片平 いや、そこまでのイベントは無いですが、私が車で研修に行くくと、研修生たちが「あつ、これすごくいいなあ」と言つてくれますし、荷物も色々載っているの、中にあるものを持つていこうとしているのを「コラー！」なんて言つたり（笑）。安全関係の講師で行くことが多いのですが、車の方も皆、見てくれることが多いですね。

鈴木 人の車を見て、これはい

なと思って導入したことはありませんか？

片平 スライドレールは「これはいただきだな」と思い、すぐに写真を撮って真似をしました。後は、私の場合、刈払機をうまく車の中に入れるスペースがないので、屋根の上に載せられるようにしています。薪を拾って帰りたい時もあるので、屋根の上にコンテナを載せられるようにしています。刈払機の良い収納方法があればどこかで見たいなと思っています。



静岡県林業研究グループ連絡協議会
片平 有信氏

鈴木 はい、誰かアイデアがある人がいたらぜひ教えてあげてください。軽バンについてですが、

林業作業道が狭いからこの車のサイズなのですか？

片平 そうですね。現場とか狭いところも入りやすいことと、もう一つ、自分の家が狭くてハイエースを置けるスペースは無いので、かろうじて軽バンにしています。

鈴木 大きな林道に行くことが多い事業体の方は、もうちょっと大きな車で工夫するといいいのではないかと思います。次に大粒来さんに伺いますが、造林と素材生産と運搬をやっていますが、本当はこの人、こっちの方が向くよねという人がいて、その人が「俺これやりたいんだけど」と言ったときはどうされるのですか？

大粒来 できるだけ希望に沿えるようにやってみてもらいますが、自分が限界を感じたり、レベルの違いを感じると、やはり自然と元に戻る感じになります。大きなけがや事故を起こす前に一声かけて転換を促すこともあります。

鈴木 色々な林業機械が大量にあります。色んな林業機械が大量にある

のですか？

大粒来 特殊になると専属の担当がつかえます。ただ、余分な部分は処分して、必要な機械が必要な時に導入するというのが大事なことでだと思います。

鈴木 分かりました。今日の議題は便利グッズということですが、山で仕事をしていて、こんなあればいいというものはありますか？

大粒来 コンテナ苗が普及してきたので、植栽機があればいいなと思います。地拵えを機械でやり、植栽機で苗木を植え、リモコン等で草を刈れると、機械化の素材生産と対等の機械化造林に行き着くのかなと思っています。目標はそこですが、まだまだ時間はかかりそうです。

鈴木 もう開発されている自動植付け機はあるのですか？

大粒来 若干スタートを切ったところで、まだ実践に持って行くには時間がかかるかな。あと十年ぐらいで完成してくれればいいかな

なと思います。

鈴木 ありがとうございます。次は、石川さんに伺います。リースの補助制度について自身で調べたという話ですが、全国的に全部調べたものはどこか無いですか？

石川 アクテリオで今、林業の部署があるのは、仙台と神奈川県伊勢原なので、東北と関東中心のレンタル補助の事例紹介になりました。もっと全国的に調べれば何十倍もあると思います。

鈴木 全国の制度がわかると、〇〇県のここはこんな良いことをやっているけど〇〇県はやらないの...？というように働きかけるのが我々の仕事なので、優良事例を提供して頂けると、東北の機関にもアドバイスできるかなと思いました。ぜひ調べて教えていただければと思います。

石川 そうですね。レンタルの関係でいうと、補助ではないですが、レンタル体制を整えている例として、関東の方で、事業体の組合のようなものがあり、そこを窓口

してアクティオと一括でやり取りをするパターンもあります。弊社はレンタル開始の際、新しく窓口を作るために契約から始めるのですが、その契約を各事業体でやらなくてもいいというメリットがあります。その組合に入れば、アクティオの機械は何でも借りられる体制がある県があります。我々としてもですが、お客様としても一から契約の書類とかを作らなくていいので非常に便利だという話を聞いたことがあります。

鈴木 ちなみに、講演の資料の中で、長野県の林業労働財団の話があったのですが、どういうわけか機械はイワフジが多いんですね。**石川** その辺りは、おそらく国内でかなり有力なメーカーさんというところで長野県さんが働きかけたのかなと予想します。

鈴木 各々の方に、林業アイテムで、本当にこれは作って欲しいな〜こんなのであればいいよね〜というものがあればお話いただきたいです。

片平 私は掃除が好きなので、小型コンプレッサーみたいなものがあると、自分の体も機械も重機も綺麗にできるなと思います。小型・軽量かつ私の軽バンにも積めるぐらいの大きさで電源も確保できるようなコンプレッサーが欲しいかな。あと、皆さん、亀の子たわしは優秀です。肌触りが良いです。掃除するときが一番おすすめですよ。清潔に掃除できるグッズはいいなと思います。

鈴木 そうですね。なかなか林業で掃除用具って注目されないですね。大粒来さんはいかがでしょう。

大粒来 作業着の中で、安全のためにチェーンソーパンツやブーツは厚手になっていますが、もっと軽量で薄手、風通しが良く、安全を確保できるようなものがあれば、夏場の作業が楽になると思います。冬場の寒さは何とかできて夏場の暑さが耐え切れないです。

鈴木 夏の暑さ対策に、扇風機で風を入れる作業着がありますが、

あれはどうですか？
大粒来 外気を入れるので、熱風が入ってくるので涼しいわけではないみたいです。蜂対策としては良いみたいです。



有限会社丸大県北農林 大粒来仁孝氏

鈴木 アクティオさんは逆に、必要なアイテムといった林業者のご要望に応えることが仕事ですね。

石川 林業業界の労働災害の多さが問題視されているので、弊社ではVRで安全の教育を行うレンタルも行っております。色々なコンテンツがありますが、今、林業分野のコンテンツに関しても開発を行っています。重機を運転中に操作ミスでキャビンに当たってしまった

う、外に投げ出されてしまうといった、「こういった作業をすると危険ですよ」を事前に安全に体験できるコンテンツ制作を行っています。それが実用段階になれば、ぜひ皆さんに安全教育として、林業の労働災害撲滅に向けて普及啓発させていただきますと思います。

鈴木 今、安全の話が出ましたが、片平さん、講演で救急箱の話がありました。林業用と一般用での薬箱の中身の違いはどうでしょうか。

片平 基本的には同じもので賄えると思いますが、林業だと、意識を失った人を運ぶために、折りたたみ式の担架もあります。あと特化しているのが、蜂刺され対策です。ポイズンリムーバーをした後、叩くと冷たくなる保冷剤で冷やしておくと、腫れやかゆみを抑えられるので救急箱に入れています。刺されたときに塗る軟膏も、ドラッグストアで一番高価なものを買っています。さらに、とげが刺さった時のために、ちよつと優秀なと

げ抜きにしてみました。

鈴木 これを揃えたらいいよねというようなマニュアルみたいなものはありますか？

片平 そこまでのものは出していませんが、林災防だと蜂対策ビデオがありますね。

鈴木 そういったアイテムや知識を揃えることも一つの対策ですね。

片平 その通りだと思います。林業特化型の救急箱は、これから必要になってくるのではないかと思います。

鈴木 丸大県北農林さんは色々な職員研修をやっていますが、やはり、山での応急処置の研修もやっていますか？

大粒来 毎年、定期的に救急救命講習をしています。また、現場で怪我をしたが、携帯が繋がらないということもあったので、1人1台ずつ無線で連絡を取り合い、全員の確認が取れたら会社にLINEで連絡を入れます。緊急事態の際は、救急車を手配して会社にも連絡をする体制をとっています。

蜂に刺された際は、付き添ってすぐ病院に向かうようにしています。

鈴木 分かりました。次に、アクティオさんは要望を聞いて色々サポートしていく立場だと思いますが、要望を吸い上げる手法はどんなものがありますか？



株式会社アクティオ 石川凌平氏

石川 弊社はホームページから問い合わせができるようになっていきます。多岐にわたる分野を取り扱っていますので、一定の分野では要望も来ていると思いますが、私自身は、ホームページ上でそういった要望を受け付けたことがないです。基本的には、普段お付き合いさせていただいている林業業者さ

んに直接会ったときに要望をいただきます。

鈴木 石川さんは、東京農大出身ということですが、林業関係の社長さんたちで東京農大の方がたくさんいらつしやるので、OB会とかいいと思います(笑)。本音が聞けると思います。

石川 やらせていただけるようでしたら大学の力をフルに使わせていただきたいと思います(笑)。

鈴木 ありがとうございます。では、ここで会場からの質問を募集します。

Q アクティオさん、広葉樹に適した機械の開発っていかがでしょう？ 広葉樹の伐倒はどうしても手作業が多く、もっと楽になればと思います。

石川 広葉樹の伐木から造材までやる機械について現状は、議題に上がっていません。ですが今後、広葉樹伐採も増えていって、機械の需要があるなら、自社開発や、そういうものを作ることが得意な開発会社に話を持ちかけてみたい、

実際現地でどんな声があるのかを確かめたりして、開発になる可能性もあります。

Q 大粒来さんに伺います。地搾え機で伐根を処理するイメージだと思いますが、地搾えするとして1台で、ha当たりの程度の処理能力があるのでしょいか。

大粒来 ラプトル300という赤い機械が、枝・伐根粉砕含めてだいたい2日間/ha、ラプトル500になると1日半/haで終わります。ラプトル800であれば1日/haぐらいの力はあると思います。

私たちの現場は、急傾斜地がないため、8〜9割は機械化です。苗木も、リモコン刈払機が入りやすいような幅で植えています。以前使った機械では、伐根に当たると不都合が生じたため、ラプトルを採用したという経緯があります。

鈴木 女性の方はいかがですか。感想でも大丈夫です。

女性参加者 アクティオさんの女性のためのレストカーで、休憩・着替えスペースとトイレが一体に

なっているような形だったので、女性が複数で使うときは気まずい場面もあるのかなど。ですが、アクティオさんのカタログを見ると車載トイレもあるので、着替えとトイレと使い分けて応用してもいいのかなと思いました。

鈴木 現場に物を持っていくときどうされていますか？

女性参加者 同じ車を毎回使えることがないので、基本的に出し入れすることを前提にしていました。今回いただいたアイディアで、救急箱は誰が見ても場所がわかるようにしていらつしやったのがいいなと思います、参考になりました。

片平 ありがとうございます。私の場合、「倉庫を走らせたならこうなりました」という感覚です。救急箱を分かりやすく置くことは皆さん、やりましょう。

Q 大粒来さんに、どの程度の傾斜までなら機械地拵え可能か？というところを伺いたかったです。

大粒来 あまり無理したことはありませんが、頑張って体感20度で

行けるかどうかと思います。あとは、ウインチシステムができているので、それを使うと作業範囲も広がると思います。

Q アクティオさんに質問です。今、東京都の森林組合が使っているスパイダーやタワーといった機械は岩手で借りることは可能なのでしょうか。

石川 東京都の森林組合で使われているスパイダーは弊社からのレンタルですが、5年契約で決まっています。去年の夏頃からレンタルしたので、あと4年間ぐらいは東京の森林組合専属でレンタルという形になります。

質問者 それが終われば全国に展開するのですか？

石川 その可能性ももちろんあります。ご興味あればぜひ。

鈴木 最後に、講師間で聞きたいことがある、どうでしょうか。

大粒来 アクティオさん、上手に安く借りるためのコツがあれば伺いたいです。

石川 一番は、そのレンタル会社

の営業マンと仲良くなってしまうば勝ちですね(笑)。あとは、レンタルの期間を工夫することです。例えば、グラップルを一ヶ月レンタルしたものの、土場に置いていて、実際に機械が稼働したのは10日しかありませんでしたとなると経費の無駄になりますので、「必要な時に必要な物をレンタルする」ことが重要です。

鈴木 石川さん側からの質問はいかがですか。

石川 林業事業体さん相手に営業をしています、日中はなかなか事務所にいらつしやらないことが多いので、そうした場合、事前に現場に訪問するのは実際どうですか？現場に行つて見たいですという要望はどうでしょう。

片平 私は現場にいて、電話をかけても全然出ないので、直接来てもらった方が、私は嬉しいなと思います。

大粒来 連絡(アポ)を入れてからの訪問であれば大丈夫です。

鈴木 皆さん、ありがとうございます

ます。これから、国産材時代に向かつて、こうなったらいいよねとということがありましたら、自分の夢ということで語っていただければと思います。



意見交換会 会場の様子

片平 安全第一の前に、道具や人員配置の整理整頓が一番大事なかなと思います。あとはやはり、丁寧に仕事をするということがどこか抜けてしまっているように見えることも多く、丁寧に仕事をしてからこそスピードアップ、効率化に向かつていけばいいと思うのですが…。仕事に追われている人たちをたくさん見ているので、やは

り安全第一と、丁寧に指導するということをもう一度振り返りながらやっていけたらと思います。

大粒来 やはり、林業で一番大切なことは安全です。安全第一で作業ができる、怪我をしないさせないということが一番だと思います。機械に関して、重機は遠隔操作ですべてができるようになるとういぶ変わると思いますし、トラックに多く積載せずとも充分間に合うような売り上げを確保できるような価格アップをお願いしたいなと、そうなればいいなと思っています。

石川 機械化することによって、林業の軽労化を目指し、それによって若い方がどんどん林業に参入してくれるといいですが、機械が増えるということは、その使い方を知らないと非常に危険ということなんです。正しく丁寧に使うことを心がけていくことが大事ではないかなと思います。

講師の皆さん、ありがとうございました!!

トピックス

NJ素流協令和7年度第1回林業経営講座兼GHG認定研修会を開催しました

令和7年4月22日(火) 住田町及び24日(木) 滝沢市において、組合員他141名の参加により、第1回林業経営講座兼GHG認定研修会を開催しました。

本講座は、令和7年4月1日施行の改正クリーンウッド法及び木質バイオマスのライフサイクルGHGに対応するための知識向上を目的とし、受講後の申請・審査・承認により木質バイオマスのGHG対応認定を取得できる研修を兼ねた内容としました。

改正クリーンウッド法に関しては、本改正で義務となった、第1種木材関連事業者及び素材生産販売事業者の実施事項を重点的に、ライフサイクルGHGに関しては、主な納入事例でのGHG情報の管理と流れの説明を重点的に行いま

した。

どちらも事業実施上欠かせない内容であるため関心が高く、熱心にメモを取りながら受講する様子が見られました。

両会場及びアンケートにてお寄せいただいた質問については、内容をとりまとめて確認のうえ回答を作成し、参加者の皆様にお送りする予定です。



受講の様子(滝沢市会場)

大船渡森林火災について
せっかく長年育てて、木材として役に立つ姿となった木を有効活用できるように早急に手を付けられるよう要望します!

この度の災害に対し、組合員は

じめ、地域の皆様、焼けた森林に對して心よりお見舞い申しあげますと共に、一日も早い復興を祈念申し上げます。

大船渡山林火災は、2月19日から続いていた火災の鎮圧が発表された26日の昼下がり再び発生して被害が拡大したものです。この火災の鎮圧は12日後の3月9日、鎮火が発表されたのは4月7日でした。

確認されている延焼範囲は約3,384haに上り、平成以降で国内最大の山林火災となりました。

これまでの県内最大の山林火災は、昭和36年に新里村(現宮古市)で発生した山林フェーン大火の51,290haですが、この火災は春先の台風に伴うフェーン現象による特殊なものです。岩手県林業公社が県北沿岸の11市町村を対象に設立された背景には、この復旧があったと聞き及んでいます。

3月28日、大船渡山林火災は激甚災害に指定され、**森林災害復旧事業として被害木等の伐採・搬出、**

伐採跡地の再造林、森林作業道等を対象に国1/2、県1/6、市1/3の助成による復旧が行われることになりました。

復旧に当たっては、林齢、樹種、地形などにより、被害に差があるので、優先的に復旧する箇所の選定と山に残された被害材の販売が喫緊の課題です。

用途に関しては、釜石市で発生した火災では、表皮が炭化した部分はバイオマス材として、表皮に炭化がみられない部分は、記念スタジアムの製品や製紙用チップとして利用されました。但し、火災の翌年には、樹幹内部に腐朽が生じるので、早急利用する必要があります。

今は、森林災害復旧事業計画の具体発表を待ちわびているところですが、当然、人手が足りなければ、激甚災害に指定されているので、復旧経験のある県庁・自治体からの応援職員の派遣も必須と思われます。行政の検討を期待します。

【事例紹介】LINEによる原木受け入れ連絡が行われています

情報通信アプリ「LINE」を使用して、原木の受け入れ連絡を行っている工場があります。

何度も電話でやりとりせずとも、メッセージの内容を見返すことで、伝達ミスの軽減にもつながるため、出荷者から非常に好評を得ているとのこと。

原木の受け入れに、事前予約・事前連絡が必要な工場では、こうした情報伝達の工夫が効果を上げています。

お知らせ

「第5回げんき森林モリフェスティバル」の開催が決定

当組合青年部会が「いわての森林づくり県民税」を活用して開催する森林・林業普及啓発イベント「第5回げんき森林モリフェスティバル」の開催が決定しました。

児童・生徒およびその保護者等に、山の仕事について知ってもらうため、林業機械による作業実演や、様々な体験を行います。

イベントの詳細が決まりましたら当組合ホームページに掲載いたします。ぜひご来場ください。

【開催日】令和7年8月3日(日)

【会場】ツガワ未来館 A p i o

岩手産業文化センター 第二屋外展示場(滝沢市)

N J 素流協 第22回
通常総会を開催します!!

ノースジャパン素材流通協同組合第22回通常総会を次のとおり開催いたします。皆さまの出席をお待ちしております!

【日時】5月26日(月)

*通常総会

15時30分~17時15分

*懇親会

17時30分~19時30分

【場所】ホテルメトロポリタン

盛岡ニューウイング

【懇親会費】会費 5000円

N J 素流協の活動が掲載されました

(一社) 日本森林学会

「森林科学103号」

特集 広葉樹の循環利用の動向及び課題「広葉樹の現状と課題」

N J 素流協 鈴木理事長

(一社) 日本森林学会HP
刊行物「森林科学」
<https://www.forestry.jp/publish/forsci/>



林野庁「森林に関するTNFD情報開示の手引き」

60ページ目で、N J 素流協の取り組みが紹介されています。

林野庁HP

https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/tayousei/top.html



ちよつと気になる木の話

106

林業への若手求人にとつて市場規模は重要

— 農業・水産業との
明らかな違い!? —

林業への若手求人に当たって、林業って本当にもうかるの？ 本当に就職して大丈夫なの？ が鍵の一つである。林業産出額は、原木市場売上から運賃・手数料等を差し引いた山元土場価格である。

一般的には、これが自伐した林業者の収入と一致していると解釈される。

しかし、自伐林家は極めて少なく、素材生産業者に立木で販売する割合がほとんどで、林業経営的には立木販売単価が安く、これでは再造林が進まないと書かれている。

そこで、素材生産業者を中心とした林業事業体の経営はどうなっているのか？ 収支はどうなっているのか？ である。

東北では、原木市場売りの比率は極めて小さい。丸太を買う工場への直送システムである。よって、素材生産業者の売上は、工場へ直納した金額であ

る。自社トラックの白ナンバーで運搬すれば、運転手は会社の従業員であり、給与・運送費は経費である。外注の緑ナンバーの場合も、会社の経費である。そうすると、林業産出額は、現在的方式より15〜20%上昇することになり、林業の市場規模は大幅に拡大することとなる。

工場着スギ13,500円/m³、運賃2,500円/m³、手数料1,080円/m³(8%)、植積み料500円/m³とすると、山元丸太価格は、9,420円/m³となる。結果143%で、産出額は、43%増となる。もちろん、平均単価が高い丸太なら、前述のとおり、15〜20%増となる。

この方式に変えたほうが、林業の市場規模を正確に反映できるのではないかと思う今である。

何故、この方式なのかというと、農業・水産業の収入構造が、市場売、農協・漁協への納入で、農業者・水産業者の手取りと合わせているのではないかと思われる。林業も、原木市場の比率の高い地域もあるが、それらの地域でも昔から近くの製材工場に直送していたよね。根本的に、木材は生食製品で

はなく、工場で加工する加工製品なのである。

もう一つは、林業事業体収入の内容である。素材生産だけでなく、造林等森林整備を行っている事業体には、造林事業収入もカウントされている。造林部門は、補助金含めて収入で、従業員の給与・苗木等は経費となる。もちろん、採算上大きな利益が出るわけではないが、収入には計上されることとなる。

となると、林業事業体収入は、林業産出額とは全く異なることとなる。何故、造林等の収入は、林業収入にならないか？ 林業経営を考えると、木を植えてからの経費を、木を売る金で賄うという経営収支方式である。この全体で利益を出すのが、林業経営の基本で、「今の立木販売価格では再造林も進まないよね」となっている。

農業は、種まきから育成して収支を得る。種まき・育成費も即売上に對する経費である。果樹も、時間は少しかかるが同様である。水産業も、養殖であっても、数年で経費を回収することとなる。

しかし、林業は、経費をかけてから収入に至る収穫までの間50年以上かかる。経費を払う人と収入を得る人では世代交代が起きてしまい、経費をかけ

たことなど、収入を得る人には関係性を認識する人はほとんどないと言える。

加えて、林業事業体は、土地所有者ではないことがほとんどである。農業経営と違って、林業経営代行業とも言える。そして、ほとんどが個人でなく、会社経営で、土木事業と似ているといえは似ている部分もある。

加えて、造林事業は、明治時代から続く個人資産形成への補助金制度がある(当初は苗木代)。これは、収穫までの間、水源涵養、国土防災はじめ、個人財産形成であっても、国民への利益をもたらすためである。

そのため、造林費を全て自己負担することは、極めて稀なケースしかない(かつての大山持ちでは、造林補助金を絶対もらわないという人もいたが)。そこで、造林事業の総額を林業事業体収入とするのであれば、林業の市場規模は膨大な金額となる。国有林の造林請負金額は、真に林業事業体収入そのものである。

この2点を考えると、林業の市場規模をどの位とみるかの大きな差が見えてくる。若者の林業への求人に当たって、もう一回何らかの方法で公開方式を検討してみる時期である。現実には、しっかりと足を踏んばって、クルクル見廻さないとイケないかなあ。

令和7年4月分の販売実績

樹 種	合板・LVL用			製材・集成材・その他用			計		
	当月出荷量 (m³)	前月比 (%)	前年同月比 (%)	当月出荷量 (m³)	前月比 (%)	前年同月比 (%)	当月出荷量 (m³)	前月比 (%)	前年同月比 (%)
ス ギ	12,888	90.2	104.1	13,408	86.9	119.2	26,296	88.5	111.3
カラマツ	5,612	98.7	111.2	137	71.2	127.8	5,749	97.8	111.5
アカマツ	3,518	82.6	107.6	39	59.6	6.8	3,557	82.3	92.6
その他	0	*	*	321	46.7	215.8	321	46.7	215.8
合 計	22,018	90.9	106.4	13,905	84.9	115.1	35,923	88.5	109.6

樹 種	燃 料 用		
	当月出荷量 (t)	前月比 (%)	前年同月比 (%)
ス ギ	2,436	85.0	59.2
カラマツ	3,728	98.4	122.9
アカマツ	846	104.6	35.3
その他	1,035	126.7	170.6
合 計	8,045	97.1	79.2

樹 種	今 年 度 累 計			
	合板・LVL用 (m³)	製材・集成材・その他用 (m³)	計 (m³)	燃 料 用 (t)
ス ギ	12,888	13,408	26,296	2,436
カラマツ	5,612	137	5,749	3,728
アカマツ	3,518	39	3,557	846
その他	0	321	321	1,035
合 計	22,018	13,905	35,923	8,045
目標達成率(%)	9.2	7.9	8.7	6.0
計 画 量	250,000	185,000	435,000	120,000

注) *印は前月又は前年同月実績がなかったことを示す。

【令和7年5月の需給動向】

- 集成材、製材工場は原木が特に不足しており工場在庫が極端に少ない！この状況は当面続く。
- 合板工場はカラマツが不足傾向、アカマツは青変菌の被害がなければ納入可能。
- これから気温も上がり、虫害を心配している状況。よって各工場では原木確保を急いでいる。

耳からウロコ

ヤマハの思い出

ー 直接会話したのは1人1度だけー

私の故郷は、ブナ産業全盛時代のブナ製材のメッカだった。桜庭木材と藤島木材工業で、ヤマハ系とカワイ系の代表会社だった。特に、桜庭木材は、国有林の年季特売で自ら森林軌道で搬出する中核企業だったと記憶している。こうした中、思い出を3つ。

最初は、中学3年生の時、開拓農家の同級生が家の手伝いをして学校に来ないので、先生から、学校に来るように誘ってきてくれと頼まれた。それから本人と仲良くなったが、中学卒で就職するという。学費問題もあり、静岡県浜松市へ。日本楽器(ヤマハ)である。遠いのにな何故と聞いたら、寮に入れてもらい働ながら定時に通うことが出来るとのこと。さすがヤマハである。家庭事情がある子供も助ける配慮だと当時は感激した。

次は、就職してからあちこちの製材所に行く機会が増える。広葉樹製材を始めるところの会社を回ると、広葉樹製材は乾燥技術が難しく、含水率一桁までと。最初から、ヤマハの工場へ行き、乾燥技術の実地での勉強をさせてもらった。広葉樹製材から集成材製材に移行した会社

も、ヤマハの乾燥技術が集成材生産に大きく役立って成長企業になったと感謝していた。カワイも同じことをやっていたかもしれないが…。

3つ目は、林野庁課長時代、突然ヤマハの人が現れた。「どのような用事ですか？」

「実は、ヤマハが成長するに当たって、最もお世話になったのは、国有林のブナ山のブナ材活用だった。一番使ったのは当社やカワイだったかもしれない。こうした山の整備に会社として寄付したい。かつての利用を考えると幾らぐらいなら良いですかね？」とのことであった。かつてのブナ産業メッカ出身の私としてはうれしく、「〇〇億円くらいかな」とこれにも相談せず話した。「取締役会にかけてみます」とのことだったが、取締役会では「ちよつと」となったと報告があったのである。その時は、自然保護問題のピークから時間がかなり経っており、今から14～15年前の頃である。個人的には「ヤマハは、このことを会社として本当に長い間気にかけていたんだ!!」と別の意味で感激したところであった。

ヤマハの会社の人とお会いしたのはたったこの1回だけである。桜庭木材は、今ヤマハが直接経営している。これからも木材に深く関わるヤマハであってほしいものである。

鳥海山麓等ブナ一斉2次林はどうするのか？方針は出ていない現状であるか？